

国際運輸労連（ITF）

第44回ITF世界大会（2018年10月16-20日、 シンガポール）

報告書

鉄道総会は2018年10月16日に開催された。

議題1：議題の採択

総会参加者は議題を採択した。

議題2：報告者、投票立会人、開票集計人の選出

ルシアノ・サルモン（アルゼンチン）が報告者に選ばれた。ティム・ビーティー（米国）、ヘンリック・ホルアッブ（デンマーク）、カトリナ・ミンドウム（クロアチア）、ウェイン・バトソン（ニュージーランド）が投票立会人と集計人に選ばれた。

議題3：大会テーマ文書

書記長が鉄道部会の優先課題に焦点をあてた大会テーマ文書についてプレゼンを行った。書記長は、ITF鉄道部会は今後も民営化反対闘争を主導し、将来の鉄道に合わせて手段や標的を適応させていくと述べた。また、独立国家共同体（CIS）の加盟組合がアジアや欧州を横断する新たなサプライチェーンに沿って大人数の組織化を行っている点に焦点をあてた。

大会代議員は大会テーマ文書を承認した。

議題4：活動計画

議長が5年間の活動計画は作成途中のものであり、鉄道産業の変化に応じて変えていかなければならないと述べた。さらに、組織化、アウトソーシング、不安定労働、自動化、仕事を変化させる新技術など

をめぐり、鉄道産業の組合が直面しなくてはならないさらなる課題に言及し、鉄道の将来はこうした変化を労働者が形づくり、影響を及ぼしていくことにかかっていると述べた。世界の鉄道システムは国によってその発展の段階が異なる。鉄道会社の所有と構成も異なる。交通運輸のモデルは国ごとに異なるが、自動化の影響もそうであるように、鉄道産業の問題に対応するにあたっては、紋切り型の対策はあり得ないため、順応性を高くする必要がある。民営であれ公営であれ、組織化を進めることに集中し、万人に資する国民の鉄道のために、ITFが確実に闘い続ける必要がある。

大会代議員は以下を含むITF鉄道部会の現在および計画されている活動を確認した：

- インドの青年鉄道員の訓練を継続し、暴力やハラスメントと闘い、女性の権利を擁護するための政策を構築する。
- 技術的専門家のネットワークを設置し、加盟組合が連絡を取り合い、特定の質問を投げかけ、早急に返答をえることができるようにする。このネットワークは戦略的な助言を提供し、国際連帯を動員し、法的な支援を提供することを目指し、必要であれば、ILOへの問題提起を行うものとする。
- 情報と組合の民営化対応の最善慣行を共有するデータベースを構築する。
- 鉄道の動向と、民営化への組合の対応や安全問題、スト情報に関するITF鉄道Facebookページを定期的に更新する。
- 独立国家共同体（CIS）の組合とITFの間の相互理解と同地域全体で組織人員の大幅増員の可能性を重視する。

議論の中で以下の点が提起された：

- インドの新しい年金制度は今後青年や女性労働者に影響を及ぼすだろう。
- 鉄道産業全体で引き下げられ、民営化によって労働者の生活が脅かされており、安全衛生が大きな懸案事項だ。
- 青年労働者を参加させ、教育し、組織化する必要がある。
- 世界の鉄道労組とその能力、組織率についてより深い分析を行う必要がある。
- アウトソーシングが進み、非常に多くの加盟組合が鉄道産業の分断の影響を受けている。

大会代議員は2019-2023年の鉄道部会の優先事項は採択された。

議題5：動議

総会は決議委員会より路面運輸部会に付託された以下の動議を検討した：

第10号動議：安全で利用しやすい鉄道

総会参加者は同動議を採択した。

フランス労働総同盟（CGT）による「要求の統合」に関する動議も鉄道部会に提出されていたが、次回のITF鉄道部会運営委員会に付託することが決まった。

議題6：選挙

選挙前の欧州の役員名に誤りがあったことが指摘され、誤りを訂正し、この修正は総会参加者に承認された。

以下の役員が選出された：

議長	
第1副議長	フリオ・ソーサ（アルゼンチン、連帯労組）
第2副議長	CAラジャスリダール（インド、AIRF）
第3副議長	ポール・センゴ（モザンビーク、SINPOCAF）
女性労働者代表	シミラル・シン（インド、NFIR）
青年労働者代表	ルシアノ・サルマン（アルゼンチン、ASFA）

総会代議員は、別紙1の鉄道部会委員会の構成に合意した。

議題7：その他

金バッチ授与

書記長が世界中の交通運輸労働者とその利益、労働組合の自由と権利の維持のために類まれな貢献を行ったことを称え、オイステン・アスラクセンに金バッチを授与した。

鉄道労働者部会委員会

2018年10月16日現在

部会役員	
議長	
第1副議長	フリオ・ソーサ (アルゼンチン、連帯労組)
第2副議長	CAラジャスリダール (インド、AIRF)
第3副議長	ポール・センゴ (モザンビーク、SINPOCAF)
女性労働者代表	シミラル・シン (インド、NFIR)
青年労働者代表	ルシアノ・サルマン (アルゼンチン、ASFA)
アフリカ	
副議長	ジーン・ベデル・ヌドゥーラ (コンゴ民主共和国、CSC)
副議長	イレーネ・ネスレーン (南アフリカ、SATAWU)
副議長	ラファエル・ベンジャミン・オコロ (ナイジェリア、NUR)
アラブ地域	
議長	アフメド・ラシッド・セノウニ (モロッコ、UMT)
副議長	ラーバイ・ヤコウビ (チュニジア、SNCF)
アジア太平洋	
議長	ウエイン・バトソン (ニュージーランド、RMTU)
副議長	ピニョ・ルエアンペッチ (タイ、SRUT)
副議長	CAラジャスリダール (インド、AIRF)
副議長	空席
女性労働者代表	ジャヤ・アガーワル (インド、AIRF)
青年労働者代表	ボンポット・スングカスク (タイ、SRUT)
欧州	
議長	シヨルジオ・トゥッティ (スイス、SEV)
副議長	マリア・クリスティーナ・マルソーラ (イタリア、FILIT-CGIL)
通常委員	デビット・ゴベ (フランス、CGT鉄道部門)
通常委員	マリオン・カルステンズ (ドイツ、EVG)
女性労働者代表	タニエラ・ザルトコヴァ (ブルガリア、FTTUB)
青年労働者代表	クリスティアン・ツィック (イタリア、FIT-CISL)
中南米・カリブ海地域	
議長	フリオ・アドルフォ・ソーサ (アルゼンチン、LA FRATERNIDAD)
副議長	エテイソン・アルバラード (ベネズエラ、FENTRAFEVE)
副議長	ヘリオ・デ・ソウザ・レガト・デ・アンドラーデ (ブラジル、FNTE)
副議長	空席
北米	
共同副議長	ボブ・オール (カナダ、UNIFOR)
共同副議長	ジョエフ・コンドー (米国、TCU)